

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成27年10月20日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻11978号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物認可

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第138号

2015年10月20日

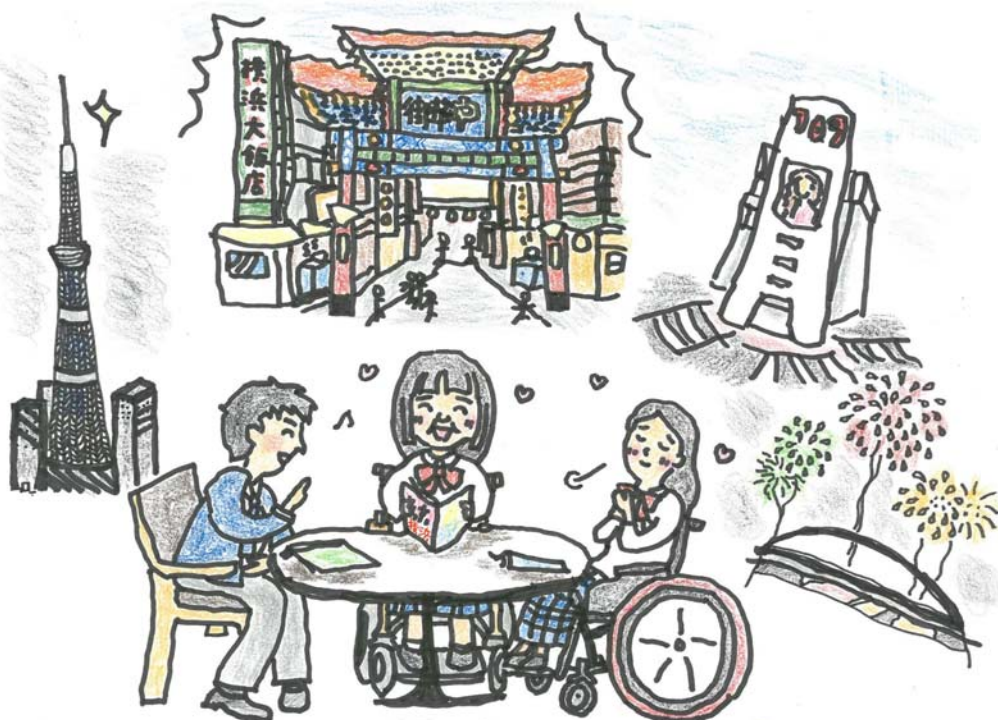
定価250円

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市昭和区下横町1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL(052)841-9888
FAX(052)841-3788
E-mail: f-joho@aju-cil.com

テーマ

活

書 高橋 誠



絵 川口いづみ

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- | | |
|---|---|
| ●ADA25 周年特集
25周年を迎えた「障害を持つアメリカ人法」から学ぶ
ジョン・ウォダッチ氏講演(前編) 1
米日若手障害者交流セミナー 5 | ●かつきのページ 24 |
| ●体験レポート
わたしの夏休み
～ひまわりと海とおじいちゃん～ 11
ワクワク・ドキドキの夏休み 13
デジモノ大好き 52 歳、スマホデビュー!? 19 | ●旅の空から 25 |
| ●オススメの一冊
ランドセル俳人の五・七・五 21 | ●トラベル情報 28
ドイツのクリスマスマーケット
あたたか宮古島3日間
他 |
| ●おめでとう
やったね!! 愛知 TRY の活動が
「市民活動賞」を受賞 23 | ●福祉用具のリサイクル情報 30 |
| | ●読者のこえ・いろいろ情報 31
ひかり鍼灸院 東洋医学体験談
読者の秋パート2
おすすめ電子書籍アプリ特集
AJU 自立の家 25 周年記念
障害者就労の未来を考えるセミナー
第 12 回多治見修道院ワインフェスタ
他 |

25周年を迎えた「障害を持つアメリカ人法」から学ぶ ジョン・ウォダッチ氏講演(前編)



今年は「障害を持つアメリカ人法」(ADA)の制定から25周年です。ADAの教訓と課題について学ぶ講演会が全国で催され、名古屋でも6月18日、愛知障害フォーラムなどが主催して開かれました。

講師はアメリカ人弁護士のジョン・ウォダッチさん。ADAのエキスパートで、生みの親とも言える人です。連邦政府勤務42年の中で公民権法にもとづく教育上の人種分離廃止をはじめ、リハビリテーション法公民権規定、そのほか連邦障害者権利法を専門とする障害者権利問題、連邦政府バリアフリー設計基準など幅広い分野で活躍されました。

ADA25周年特集として、本誌ではウォダッチさんの講演を2回に分けてお届けします。前編はADAの成り立ちと、ADAがもたらしたアメリカ社会の変化を、後編はADAが取り組んだ諸課題、法律に魂を入れるための取り組みについて紹介します。日本の参考になるヒントがいっぱい!!

60～70年代の障害者の状況

皆さん、こんにちは。ご一緒できてうれしく思います。今日は障害者の権利問題についてアメリカの経験をお話したいと思います。

私は障害者の課題に1973年から取り組みはじめました。当時のアメリカは今とずいぶん様子が違いました。建物はアクセスできないものがほとんどでした。歩道には段差があり、公共の場でト



イレが使えません。障害のある子どもたちは別の学校で、レベルの劣る教育をされていました。

雇用の機会もきわめて限られていました。障害者の家族は恥ずかしいという気持ちでした。

障害者は施設に入られていました。障害者は結婚をしたり契約を結んだりできないという州法がありました。避妊が強制されているようなこともありました。かなり暗い光景ですよ。

所得保障など障害者向けの施策はいくつかありました。障害のある人たちを助けよう、手をさしのべようという考え方でした。

60～70年代、アメリカの多くの障害当事者たちがアメリカの社会で違った役割を果たし始めました。障害者も権利があるんだと伝えるようになりました。かわいそうだから助けてもらうのではなくて、自分たちも同じ市民で同じ権利があるということ障害者たちが言うようになってきたのです。

障害者の生活が変わった

いくつかの法律が成立しました。1973年にまずリハビリテーション法というものが成立しました。セクション504がよく知られています。障害者を対象とした初めての公民権法です。それから障害者教育法も成立をしました。

ADAが成立してから25年、リハビリテーション法からは40年がたちました。おかげでアメリカにおける障害者の人生はまったく変わりました。また障害のない人たちにとってもずいぶん生活の様子は変わりました。

アメリカでは障害のある人たちも認められるようになり、社会においてなんでもできる、他の人と同じことができるという認識になってきました。自立して尊厳をもって選択肢を持って生きることができる。障害者もエンパワメントされるべきだと認められました。

どのような変化が起こったのでしょうか。アメ



り力にきて一番気づかれるのはやはり建物の環境だと思います。アクセシビリティが保障されるようになりました。車いすが通れるように



歩道もスムーズになっていますし、市役所の建物、オフィスそしてスポーツのスタジアム、バーや映画館や銀行や診療所や、刑務所でさえバリアフリー化されています。

車いすだけではなくて長距離歩くのが難しい人、また視覚障害のある人、聴覚障害のある人、難聴の方たちにも対応しています。

交通機関もかなり変わりました。ADA の要件として、すべての新しいバスはバリアフリーでなくてはならないというふうになりました。古いバスの改修にお金がかかるから眼をつぶるけれども、新しいものはきちんと対応

するということです。バスは 20 年くらい使うので、20 年以上たってほとんどのバスはバリアフリー化されました。



歩道の整備も進みました。地方自治体もかなり認識するようになり、段差がないようにほぼ対応されています。地下鉄も路面電車もそれからフェリーなど、さまざまな交通手段がバリアフリー化されています。ホテルや空港リムジンなどもバリアフリー化されています。

連邦政府としては、そういった組織を対象に訴訟を起こして、バリアフリーの対応を進めなくてはならないこともありました。今はかなり進んでいます。

教育が人のあいだの障害を取り除いた

こうした重要な変化が起きたのはなぜでしょう。教育のおかげだと思います。教育改革は 1968 年に始まりました。考え方としては全ての人、全ての障害者は、障害程度にかかわらず教育を受けることができ、教育を受ける権利があるという考えです。どのような人でもその人のニーズに合った

教育を得る権利がある。非常に重度の障害者、彼らがどのように自立して生きていけるか、地下鉄が使えるか、バスが使えるか、ナイフとフォークが使えるか、という教育になるかもしれません。

考え方としては全ての人々が教育を受ける権利があり、普通学級で教育を受ける権利があるという概念です。つまり隔離された学校をやめよう、普通の学級に組み込もうと考えました。そこで教育制度の改革が重要でした。教師の教育も必要でした。教師もどのように障害児を教育すればいいかその手法も知っておく必要がありましたし、障害のない子どもたちとどうやってつきあっていくかをも知る必要がありました。

私には孫が 4 人います。孫の 1 人は今週学期末で 2 年生が終わるところです。彼女のクラスにはクラスメイトに聴覚障害のある女の子がいます。クラスには担任の先生、先生の助手、そして手話通訳もいます。孫にきくと「おじいちゃん、普通よ」といいます。いまの教育のプログラムがこういう状況になっています。

この教育の部分が、アメリカ人の生活を変革しました。

教育は人のあいだの障害をこわしてきました。人はもう障害者のそばにいておそれていません。障害のある人も社会に入っていっておそれる必要がなくなりました。保健医療の分野では聴覚障害者が今までかなり苦労していました。手話通訳が必要なのになかったからです。



手話通訳はいまや病院でも、個人医のオフィスにもいます。そして新しい病院の設計の時代にはいりました。病院における施設、設備もアクセシビリティが確保できています。特にお手洗いを病院の病室のなかにあるものもバリアフリーにする、車いすの利用者であってもお手洗いを自分の病室で自立して使用することができます。医療機器についてはやっと取り組みはじめたところです。しかし進歩はしています。

隔離から統合へ

別の分野で大きな変化があったのはインテグレーション（統合）



です。今まで障害のある人は大きな施設に入られていたのですが、閉鎖されつつあります。障害のある人はサービスを使いながら、自分の地域社会で家族と一緒に、友人と一緒に暮らすことができるべきという考えです。

LC 対オルムステッド判決という有名な最高裁判所の判例があります。

この判決では不当な隔離、障害者を隔離して施設に入れるということは ADA の違反である、もし障害のある人がコミュニティに暮らしたいと選んだ場合はそうできるべきだという判例となりました。その結果、司法省、政府、そして福祉関係の省庁も、今まで施設にいた障害者を、支援サービスにより地域社会に移行できるようにしています。

「合理的配慮」が実は重要

最初に提唱したとき、社会にとってこれほど意味を持つと気づけなかったのが、合理的配慮・合理的修正という概念です。

ADA が示したのは合理的配慮の方針とその手順、実践です。障害のある人に対して差別をしないためには、必要に応じて合理的な修正を加えるべきだという考え方です。たとえば米国では視覚障害者が盲導犬を利用される方がたくさんいます。視覚障害以外にもさまざまな障害者が補助犬を使っています。たとえば代わりに聞いてくれる犬、あるいは発作を起こした時に助けてくれる犬、あるいは精神障害のある人も犬を活用してより安心感を得ています。

ADA で要求しているのは、人は補助犬を連れていてもどこでも行けるべき、ということ。一般の人が社会でいけるところであれば、病院であろうと学校であろうと、あるいはオフィスのビルであろうとお店であろうと、バーであろうと介助犬と一緒にいけるべきです。

合理的配慮に基づく修正の例として、受験をお話しします。学習障害のある子どもや大人が試験を受ける場合、あるいは視覚障害のある人がコンピュータを使って試験を受ける場合、聴覚障害のある場合もそうです。何らかの支援が必要である人が試験を受ける場合ですが、それぞれに合った配慮を受けることができます。学校や試験を課す組織は対応しなくてはなりません。

さらにお伝えしたいのが IT（情報通信技術）の活用です。IT の浸透によりアメリカ人の暮らし方は変わってきました。日本もそうかと思います。

私たちは情報化社会のなかでコンピュータとともに暮らしています。アプリとともに暮らしています。重要なのはこのような情報システム、たとえばホームページやアプリ



ですとか、あるいはそのテクノロジー、ハードウェアが、障害のある人にもアクセシビリティが確保できなくてはなりません。それが新しい潮流です。

ホームページもさまざまな人にアクセスが可能にしています。アメリカの大学、短大ではオンライン学習が増えていてますが、オンライン化が加速しています。オンラインシステムでは、視覚障害者のためにスクリーンリーダーを使って利用できるようにしています。ビデオを用いる場合には字幕をつけて聴覚障害があっても理解ができるようにしています。マウス操作ができない人のためには、マウスの代わりにキーボード操作を用意し、コンピュータを利用できるようにしています。あるいは知的な障害があるなどで応答に時間が必要な場合、時間にセンシティブな問題がある場合など、それぞれ対応しています。

電話リレーサービスが障害者を社会に開かせた

もうひとつ皆さん紹介したいのが電話のリレーサービスです。ADA は情報リレーシステム、電話

のリレーサービスを要求しています。ADA 第4章ですが、アメリカではある仕組みを作って、うまくやっています。

アメリカ人全員が1ヶ月に数セントずつ負担し



て、これを財源に電話システムをアクセシビリティがあるものにしています。実はアメリカ人

でも全く意識していない人もいるかもしれません。電話料金におりこまれています。しかしこのおかげで電話システムが聴覚障害のある人にとってもアクセス可能になりました。人と物のネットワークができました。

私が聴覚障害協会の会長さんに電話するとき、通訳を介して電話で話すことができます。私は個人的にお金を払っていません。聴覚障害の人は音声で聞くわけではありません。ADA がつくったシステムがその通訳の費用を払っています。このシステムはアメリカにおいては聴覚障害の人に大きな変化をもたらしました。彼らは自由に話そうことができるようになり、彼らを社会に開かせました。

態度的障壁がなくなることが重要

このような変化の中でもっとも重要なのは、態度的な障壁がなくなってきたということです。社会学者は次のように言います。障害者差別がなぜあるかという、障害のある人のそばにいるのがこわい、間違ったことを言いたくない、不適切なことを言いたくない、無知だからと。

こういうことがありました。雇用主が乳がんの女性を雇用したくなかった。他の従業員にそれがうつるかもしれないからと。単なる無知ですね。無知が原因で差別を生んでしまいます。ADA によりインテグレーションが進み、社会が変わりつつあるおかげで、障害のある人たちも障害のない人と日常のなかで相互関係をもつこと

ができます。

一般の人の考え方も変わってきました。より開かれるようになってきました。社会の障害のない人の考え方も変わってきました。重要なのは、障害のある人も自信や自尊心をもつことができたことです。社会に統合されることにより、障害者に活躍の機会を与えました。

アメリカはまだ道半ば

なぜこのようなことをお話したか。自慢ではありません。実際かなり進歩できたと思います。しかしまだまだ改善の余地はあるということです。アメリカ社会においてまだ道半ばだからです。日本よりは長めに取り組んでいるかもしれませんが、まだ失業率も障害者においては高くなっています。

医療器具や医療機器で、たとえば診察台でちゃんとのれるように降りてくるものがありません。なかなか診察台にのぼれない。医療機器はまだ



アクセシビリティが完全に確保されていません。まだ問題もあります、まだ道半ばです。

アメリカの障害者と話をすると、今までのところうまくはいったけども、まだまだこれとこれとこれが必要だとおっしゃると思います。

皆さんに申し上げたかったのは、かなり厳しい状況から短期間でここまで来られたということです。アメリカではできた、日本でもできるよと申し上げたいのです。今週日本にきて差別解消法のこと学んだのですが、日本においても非常にいい時期だと思います。タイミングはぴったりです。今まさに行動をとるべきです。かなり基礎はできたと思います。



米日若手障害者交流セミナー

TOMODACHI ADA25 LEAD ON! TOUR



日本では「障害者差別解消法」が2016年4月から施行されますが、世界で初めての障害者差別禁止法である「ADA」は、今年25周年になります。

そこで、米国の若手リーダーとたくさん交流し、ワシントンDCでたくさんのADA25周年イベントに参加し、アメリカの障害者運動を体験してきたふたりのレポートを紹介します。



5月からAJU車いすセンターのスタッフになりました近藤佑次です。私の障害は頸椎損傷で普段から電動車いすに乗り生活しています。そんな私ですが、今年の7月JIL/DPI*主催の米

日若手障害者交流セミナー「TOMODACHI ADA25 LEAD ON! TOUR」へ参加し、アメリカのワシントンDCへ行ってきました。

*JIL…全国自立生活センター協議会。自立生活センターの連絡調整と支援を行っています。

*DPI…‘Disabled Peoples’ Internationalの略であり、日本語では「障害者インターナショナル」といいます。1981年の国際障害者年を機に、身体、知的、精神、難病など、障害の種別を超えて自らの声をもって活動する障害当事者団体として設立されました。

約1年ぶりのワシントンDC

実は去年の9月にアメリカへ行った際、ワシントンDCにも訪れていたため、今回のツアーでは初めてのドキドキワクワク感はありませんでした。

しかし去年と大きく違うことが一つありました。去年は7人での旅でしたが、今回は当事者、介助者、事務局合わせるとなんと60人以上！自立生活センターで活躍する若手スタッフが主で、JICA（国際協力機構）のスタッフや一般企業に就労されている方など、日本中からいろんな人たちが参加しました。アメリカに行き、たくさんの事を体験し、感じるという楽しみの他に、日本中の若手当事者とたくさん繋がれた事も大きな収穫でした。

生で感じた人種差別

いきなり驚いたことがあります。まず障害者差別どうのこうのより先に、人種差別を感じたことです。私たちがワシントンDCで滞在したホテルは黒人の居住区のすぐ隣でした。地下鉄に乗って



ホテルに帰る時などは周りほとんど黒人でした。黒人が完全に分けられている事が何も言わ

なくともわかりました。彼らはただ肌の色が黒いという理由で差別を受けている。私も夜、黒人が集まっていたら身の危険を感じてしまう。私も黒人を差別の目で見ていることに気づいた。

NCIL (JIL のアメリカ版) 会議の分科会にも、障害者運動の中で黒人障害者どう手を取り合って運動していくかというコマがあるくらい、障害当事者の中でも問題意識がありました。

国会議事堂へのデモ行進

個人的に今回のツアーで一番楽しく、刺激的だったイベントがツアー5日目に参加した国会議事堂へのデモ行進でした。参加するまで私は、ADAの25周年を盛大に祝うパレードを想像していました。しかし実際は、まだ足りない障害者の権利を求めるデモでした。掛け声も「What do you want? (何が欲しいの?) ACCESS!! (アクセス!) When do you want? (いつ欲しいの?) NOW!! (今!)」等、まだ足りぬ障害者の権利を訴えるフレーズばかりだった気がします。介助制度が不十分で「施設でなく地域で暮らせるようになることが重要な課題のようで、差別禁止法ができて25年経った今でも、運動し続けていかなければならない状況にあるということ。差別を無くすことがいかに難しいことなのか。アメリカの当事者たちに混じって叫びながら感じました。



若き女性リーダーたち

そんな中、一番声を張り上げてデモを仕切っていた中心人物はみな若い女性当事者でした。デモだけでなく、NCIL 会議の司会進行役や、アメリカ人ユースの集まる場で前に出ている当事者がほとんど女性で、日本とのギャップがあり過ぎて衝撃を受けました。去年アメリカに行った時も女性リーダーの方に会う機会が多く、話もたくさん伺いましたが、今回はその女性リーダーたちが実際に運動し、リーダーシップを発揮しているのを見て見ることができました。私の中で疑問に思っていたことが確信に変わりました。そして、「やっぱり女性って強いなあ」とも思いました。アメリカを見習って日本の当事者運動もジェンダーバランスを強く意識していかないといけないですね。



壊れて当たり前?

ワシントンDCには地下鉄が走っているのですが、常にどこかの駅のエレベーターが壊れています。たった一週間の滞在でも、日本のメンバーがエレベーターに閉じ込められたり、乗ろうとした目の前のエレベーターが壊れたりする場面もめずらしくありませんでした。

駅のエレベーターが壊れている場合は、一つ手前の駅で降りて、そこからはリフトカーで目的地の駅まで運んでくれるという合理的配慮がありました。しかし、実際にはリフ



トカーが来るまで時間がかかり、1駅歩いたほうが早いのでそのシステムをほとんど使わないといった状況もあるみたいです。壊れてから直すアメリカ。壊れないように点検ばかり行う日本。文化の違いですかね。

言葉の壁

アメリカに行く前に、少しでも会話ができるように英語を勉強したつもりでしたが、完璧を求めるようになったせいか、去年より話せなくなっていました。そこでたくさんの人たちに協力してもらいました。英語が出来る人を捕まえてはメールを打ってもらったり、通訳を頼んだりしました。もうそこはプライドを捨てて、頑張っで英語をしゃべることをやめました。通訳を捕まえることを頑張ることにしたのです。おかげで、日本との交流に興味を持ってくれたカリフォルニアの若手当事者育成団体のメンバーと会うことができました。このとき顔を合わせることの出来た方とは、今後も連絡を取り合い、必ず次に繋げたいと思っています。



お互いに学び合い伝え合う！

12日間ワシントンDCに滞在していて思ったことは、アメリカが全てにおいて勝っているわけではないのだということ。例えばエレベーターが当たり前で壊れているなんてことは日本で考えられないし、介助者サービスの制度も日本は負けていないかもしれない。現に介助者を連れた重度障害者があまり目につかなかった。これからはお互いにいい所を見つけてお手本にしていけばいいと思う。その為に今回のツアーで出会えたアメリカの当事者との関係を大切にしていくな必要があると

思う。私はまだまだ勉強不足でツアーの目的も全て達成することができない未熟者ですが、このようなキッカケを作ってくれたJIL/DPIの関係者、現地でいろいろ調整してくれた方々、ツアーに参加させてくれたAJUの仲間に感謝します。本当にありがとうございました。

とても勉強になったADAツアーでしたが、勉強ばかりでなく観光する時間もあり、ワシントンDCをたっぷり満喫することができました。有名なスミソニアン博物館や、歴代大統領の記念碑の数々、ホワイトハウスや国会議事堂などの政府機関。歴史を感じられる場所がたくさんあり、アメリカという国にとっても興味が湧く街でした。観光していても、車いす利用者へのアクセスがしっかり保障されているなど、配慮がしっかりしていたので、特に困ることはありませんでした。

そして、今回のツアーは今年だけで終わるのではなく、今後も続きます。来年はワシントンDCに、貧困国で活躍している自立生活センターのスタッフを集め、ILサミットを開く予定です。そして再来年もきっと楽しい企画を用意することでしょう。興味のある方は是非名乗りを上げてください。



佐藤元紀、29歳。筋ジストロフィーの僕は、障害者ヘルパーステーション・マイライフ刈谷で現在、活動中！

去年はカンボジア人旅、ホノルルマラソンのためにハワイへ飛びました。そして、今年もやって参りました、日本から出るときが！

行き先は自由の国アメリカ、首都ワシントンD.C.の地を初めて踏みしました。7/24~8/1の7



泊 8 日の旅でどんなことをしてきたのか、何を学び、何を感じたのかお話しします。

はじめに

今回、ワシントン D.C.を訪れた目的…それはアメリカの障害者差別禁止法である ADA(障害をもつアメリカ人法)が 1990 年に制定されてから 25 周年を迎えたことを共に祝い、アメリカの障害当事者と交流すること。加えて、私はアメリカという国がどのような場所なのかを自分の目で見たい！今までの人生で 2 度だけ特別支援学校を訪れたことがあるけれども、障害のある子どもだけが集まっている光景が全く受け入れられなかったな。やはりインクルーシブ社会を目指す上で教育は要だから、アメリカがどのような実践をしているのかを学びたいと思っていました。また、この旅でアメリカの障害当事者と繋がり、仲間をつくることも大事な目的でした。

私は障害者運動に関わって 3 年目、まだまだ目の前のことをこなすばかりで、障害当事者としてリーダーシップが不足していると感じています。しかし、障害者が地域で当たり前のように生活できるようにしたいという強い思いはあります。その中でアメリカへ行くことで、少しでも自分自身をエンパワメントしようとアメリカの地を踏むことになりました。

歩いてなんぼ！

成田空港～ダラス空港、直行便でも 13 時間の長時間フライト！一体何本映画を観たのだろうか…何とか乗り越えワシントン D.C.へ到着。日本を 7 月 24 日午前に出発したはずなのに、アメリカ着いても同じ日の午前中、時差って不思議です。

時差ボケの中、やっぱり初めての土地を訪れると見るもの全てが気になって冒険したくなりますよね。海

外へ行った時はまずスーパーマーケットに行くべし！散歩がてら徒歩 10 分、スーパーマーケットに着くと自分の視野では収まらないほどのスペースが広がり、アメリカンサイズの食材が大量に並んでいました。そこには着色料たっぷりで色鮮やかなケーキが！その名も“Devil Dog Cakes”(悪魔の犬のケーキ)…ネーミングセンス悪過ぎでしょ！とツッコミながら、アメリカに来たんだなと実感していました。

そんなスーパーで、ふと周りを見るとお惣菜コーナーに車いすの表示がありました。近づいてみると…英語で「お手伝いが必要な方はスタッフに声をかけてください」と書いてありました。アメリカにも愛知 TRY の影響があったんですね。(笑)



日本で過ごす中で、店舗自体がそのような表示をしているのを私は見たことがなかったです。頼めばやってくれる店舗がほとんどだと思いますが、しっかりと明示してくれると安心感が違いますね。電動で動くカートも自由に利用できるようなもっていたので、障害のある方への配慮がほんとに素晴らしかったです！

初めの 2 日間ぐらいいは自由時間が多かったので

ホワイトハウスやスミソニアン博物館、大聖堂など観光地をバスや電車、徒歩で周りました。ふらふら歩いていると、陸橋にあがるための階段がありました。しかし、驚くべきことになんと車いすのまま乗れる昇降リフトが設置されていたんです。おお、これはすごい！と思って近づくと…あれ？前に進めない！リフトはあるものの、そこへ行くまでの道が樹の根っこでガタガタ、簡易電動車いすでは行けなかったんです。正直、途中で止ま



るのが怖くてリフトに乗るつもりはなかったんですけど…。

また、まるでハリーポッターに出てくる様な大聖堂へ行った時には車いすでも中が回れるようにスロープがついていて、展望台にもエレベーターで行くことができました。多目的トイレもあって、見た目は木の扉なんですけどそばに車いすマークのボタンが！ポチッと押すと扉が自動で開閉するんです。アメリカではそのボタンをいろんな所で見かけますよ。車いすで歩いているからこそ、いろんな発見がある。まずは歩くべし！！

交通アクセス



やはり車社会だけあって、アメリカは発展していますね。特に路線バスがとっても乗りやすかったです。何故かといえば、健常者と同じ出入り口を利用できるからです。日本だと、運転手が席から降りて、スロープを取り出し、4点をベルトで固定するという複雑で時間のかかる手順を踏みますよね。どうしても周りの目が気になってしまいます。でも、アメリカでは運転手は動かずに電動でスロープが出てくる、固定器具も備え付けで前後を固定するのみなので時間もかからない、他の客に気を使うこともなく精神的に楽でした。

タクシーも前日に予約すれば必ず車いす対応の車が来てくれます。実際、帰る日には4台もの車いす対応のタクシーが並びました。日本では見ない光景では無いでしょうか。電車もホームと電車の高低差がないので、普通型の電動車いすであればスロープなしで乗れちゃいます。ただ、電車は加減速が激しくて、停車するたびに体が持っていられそうになるので覚悟してください！

共に学ぶ



教育に関して学ぶ機会がありました。深いところまでは学ぶことはできませんでしたが、障害がある子どもは原則、地域の学校で学ぶことになっており、その中で注目すべきは障害のある子どもと、学校の間にコーディネートが入ることです。入学する前にどのような配慮が必要なのかを話し合い、入学後も次の1年間を見据えた話し合いをしていく仕組みになっています。たとえ知的障害があったとしても、勉強だけではない目標の設定、学校生活の中で何を習得するのかを明確にするそうです。アメリカにも特別支援学校はありますが、選択肢の一つでしかありません。日本の状況とはまるで違いますね。

やはりインクルーシブが前提として、その上で引き起こる課題を解決するためにはどうしたらよいのか第三者が間に入って解決する仕組みが必要だと思います。教育に関してはADAとは別の法律になるので今後、探求したいと思います！

みなぎるパワー

ツアー中盤からはADA25周年を祝うイベントが多くありました。スミソニアン博物館の中にADAの歴史コーナーがあったり、障害をテーマにした映画祭があったり、美術館の階段にエド・ロバーツが描かれていたりと様々な手法で広めていました。



そして、何よりも印象的だったイベントは国会議事堂までのパレードでした。参加者はなんと2,000人！車いすユーザーだけでなく、介助犬や盲導犬を連れた人、知的障害がある方など様々な障害、弁護士や大学のトレーナー、障害者団体のインターン生など様々な立場の人が参加していました。そのパレードを先頭に立って率いていたのが、若い女性障害当事者だったのです。



NCIL のユース部門のリーダーをしているアリーさん、暑い日差しの中”What do you want? Job! When do you need? Now!” 等ずっとシュプレヒコールを叫び続けていました。その声のパワーには圧倒されましたね。スピーチしている時も彼女の言葉一つ一つに情熱が感じられ、まるで演説のように心揺さぶられました。

ロビー活動へ GO!

パレードの後にニューヨーク州のロビー活動に参加しましたが、そこでも女性のリーダーが前に出て話していました。議員の秘書に対して障害者が施設から地域で生活できるようにするための法律を求めています。私はそこでアメリカの地域移行の現状を目の当たりにしました。

国としての考え方として施設で生活してもらった方が安上がりだという考えがあるそうです。特にニューヨーク州は“ウェイティングリスト”と

いう訳の分からないリストを作っていて、施設から地域移行する優先順位を勝手に決めているんです。しかも4,000人という人数制限を設けていて、障害種別、年齢で順位を決めています。26歳を過ぎると優先順位はどんどん下がっていくそうです。日本では介助者の時間数の制限を設けている場合が多いけど、人数や順位を決めてしまうなんてすごい差別をしていますよね。大きな都市があるから地域移行も進んでいると思っていたので驚きました。地域移行に関しては制度的には日本の方が優れていると感じた瞬間でした。

まとめ

今回、約1週間ワシントンD.C.で過ごしましたがアメリカの障害者運動の活発さを肌で感じることができました。でも、一方で障害者がアメリカで地域生活を営むことに壁がまだまだあることも知りました。そして、日本の方が優れている部分を知ることができました。

ADAが成立して25年たった今でも多くの課題があることを知り、改めて考えさせられたのは法律が社会を変えるのではなく、障害当事者が声を上げ続けることで社会が変わっていくことです。私が活動する三河地域では、その声が少ないのが現状です。まずは私自身が変わり、そして、社会を変えていくために日々学んでいきます。



わたしの夏休み



～ ひまわりと海とおじいちゃん～

こんにちは。読者のみなさん！

木造江里子です。私は脳性マヒという障害で、簡易電動車いすに乗っています。

みなさん今年の夏は満喫できましたか？

わたしは今年の夏、念願だったひまわり畑に友達と行ってきました。実はわたし、花の中でひまわりが1番大好き！！（自分で育てようとしたけど失敗したことは内緒（笑））
ということで、今回は南知多花ひろばまでの小旅行をレポートしたいと思います。



お盆休みだし遊びに行きたーい♡

というわたしの誘いに乗ってくれた友達はいろんな場所を提案してくれました。

USJ に浜松にパルケエスパーニャ…。USJ とパルケエスパーニャはお盆休みだから激混みしそうだし、浜松は職場の旅行で行くし…というわたしのわがまま？（笑）から最後に提案してくれた、ひまわり畑に行くことに決定！

今回の移動手段は電車とバス！河和駅からは初めて海っ子バスを利用しました。車いす対応になっているので乗車には特に問題なかったのですが、本数が少なく、30分に1本？だったので、時間が余ってしまい、どうする？となりました。少し歩けば海が見えるよーと友達に言われたので行ってみることに。



ダンディおじいちゃんとの出会い

海岸までは、ほぼ段差がなく坂を下がれば海辺まで行けるようになっていました。わたしは坂も急だし、海の砂は車輪が取られるしと思い、坂の手前で海を眺めたり、海辺で一人はしゃいでいる友達の写真を撮っていました。

そうしたら、お孫さんと来ていたダンディなおじいちゃんが「あの子も一緒に来ているんだろう？せっかくなんだから海辺まで連れてってあげるよ」と言ってくれてダンディなおじいちゃんのお力を借りて海辺まで行けることに…。

なんてかっこいいおじいちゃん
なんだろうと感動しつつ、写真もたくさん撮ってもらい、お礼と握手をしてさよならしました。



🌻 さあ ひまわり畑へ

海でたっぷり遊んだあと、河和駅に戻り、海っ子バスに乗って、プラスチック工業団地という停留所で降りました。

ここからが遠い！また遠い！おそらく徒歩 20 分くらいだと思うのですが、真夏の日差しが照る中、歩くのは正直辛かったです。

喋っているうちになんとか着き、入場すると、



ひまわりの顔抜きパネルがありました。撮ろうよ！と友達が、わたしの顔をはめようとしたのですが、車いすの高さだと顔抜きしてあるところの位置が私の顔よりも低く、上手く顔

がはまりませんでした。友達は諦めるかと思いきや、私の顔の位置まで合わせようと一生懸命パネルを持ち上げようとしている！

それを見ていた女子大生？グループも一緒に手伝ってくれて、なんとか顔抜き成功！！ばっちり写真も撮れました。

さて、肝心のひまわりですが、満開でした！元気に咲いていました！車いすでは土の中を移動することは大変でしたが根性で動き、さすがに狭いひまわり畑の中に入っていくことは難しかったので、友達にひまわりを摘むのはお願いしました。（一人 5 本まで持ち帰り可能）

写真も思う存分撮り、ひまわり畑を満喫したあと、お腹が減ったわたしたちは、バスでお魚ひろばへ行きました。



お魚ひろばでは新鮮な海鮮丼を食べました。鮪、甘エビ、ウニなど具沢山で大満足でした。

🌻 おわりに・・・

今回、ひまわり畑と一緒にいった友達は実は初めて 2 人での遠出でした。車いすの介助経験もない中、色々大変だったと思いますが、「楽しかったよ」と言ってくれたこと本当にうれしく思います。ありがとう。そして、南知多で出会ったたくさんの優しい方々、ありがとうございました。

無計画な旅でしたが、本当に楽しい思い出ができました。

次は山梨県にあるひまわり畑に行きたいな（笑）



《観光農園花ひろば》

所在地：愛知県知多郡南知多町大字豊丘字高見台 48

見頃時期：6 月下旬～11 月下旬（2015 年の場合）

アクセス：

車……名古屋から 60 分、知多半島道路「豊丘 IC」下車後直進、2 つ目の信号「馬道」を右折、直進し、突き当りを右折
電車…名古屋鉄道「河和」駅下車後、海っ子バス「プラスチック工業団地前」下車後、徒歩 15 分

営業時間：8:00～17:00

料金：大人 650 円 小学生 300 円

未就学児無料

TEL0569-65-2432 FAX0569-65-2463

ワクワク・ドキドキの夏休み

毎年、特別支援学校の卒業生や障害当事者が中心となって企画している「夏季自立体験プログラム」が、今年も8月1日（土）～9日（日）に行われました。

このプログラムは、障害のある中・高校生が、学校ではなかなか経験できないことに挑戦したり、自分の力を試したり…初めての体験を楽しみながらいっぱいやろうというものです。

今年は、初めての取り組みもあって、参加者もスタッフも、みんなドキドキ…みんなの夏季体験を紹介します。



今回の夏季体験では、中・高校生たちが、自分たちで行きたいところを決め、自分たちで企画して実践。目玉企画は、東京方面へお泊まり体験！

>>> 日 程 <<<

8月1日 オリエンテーション、自己紹介
8月2日 好きなところへ行こう(自分企画)
8月4～5日 東京方面に泊まりに行こう！！
8月7日 街へ出て課題をクリア
 (栄方面へ外出)
8月8日 やりたいことをやろう(自分企画)
8月9日 ふりかえり

>>> 東京・横浜一泊旅行 <<<

	メンバー	行き先
A	Nさん（手動車いす） サポーター 2名 当事者スタッフ 1名 健常者スタッフ 1名	8/4（火） お台場→渋谷→原宿・表参道 8/5（水） 東京スカイツリー→上野恩賜動物園
B	Mさん（手動車いす） サポーター 1名 当事者スタッフ 2名	8/4（火） 池袋 8/5（水） 秋葉原
C	Rさん（手動車いす） サポーター 1名 当事者スタッフ 1名 スタッフのヘルパー 1名	8/4（火） ディズニーシー 8/5（水） 東京スカイツリー→浅草
D	Hくん（電動車いす） サポーター 2名 当事者スタッフ 1名 スタッフのヘルパー 1名	8/4（火） 中華街→赤レンガ倉庫→横浜ランドマークタワー 8/5（水） 日産グローバル本社ギャラリー→原鉄道模型博物館
E	Yくん（電動車いす） サポーター 1名 健常者スタッフ 1名	8/4（火） 秋葉原→浅草→東京スカイツリー 8/5（水） 汐留・日本テレビ→東京駅構内
F	Tくん（電動車いす） サポーター 1名 当事者スタッフ 1名 スタッフのヘルパー 1名	8/4（火） 渋谷レコード店巡り 8/5（水） その時の気分で決める



参加した高校生の感想

参加した高校生に、東京や横浜で過ごした2日間について、感想を聞いてみました。



Nさん（高校3年、女子）

スタッフ: 東京へ行ってやってみたかったことは？

Nさん: 渋谷、原宿、表参道、お台場、上野動物園、スカイツリーに行くことです。渋谷の109に行って買い物したり、上野動物園のパンダを見たり。パンダの哀愁ただよ背中を見て、ご飯中癒されました。

スカイツリーは、エレベーターがきれいで、普段とちがう眺めで嬉しかったです。でも、すりガラスは怖かった…。

スタッフ: 参加してみてどうだった？

Nさん: いろいろ不安はあったけど、電車に乗るのに慣れたり、人に聞くのが良いということがわかりました。

スタッフ: 考えこんで、固まってしまうことがあったね。悩んでもよいけれど自己決定、自己判断が早くなるといいね。予定をちょっと詰め込みすぎだったかな。これから、お金の感覚をつけるといいよ！人と話すことはできてたから、これからも活かしていこう！

Mさん（高校3年、女子）

スタッフ: 東京のどのあたりに行ったの？

Mさん: 池袋や秋葉原。アニメイト本店とか、ラジ



才會館に行きました。路線図を間違えたり、道に迷ったりしたけど、行きたい所に行けてよかったです。わからないときは、マップを見たり、人に聞いたりしました。

電車に乗るのに慣れたし、乗り換えることも駅員さんに言えるようになりました。

スタッフ: 行動力があるね！見ていて気持ちいいくらいの決断力と行動力が、とてもよかったよ！！それから…スマホゲームはちょっとひかえ目にね。

Hくん（高校2年、男子）

スタッフ: Hさんは、横浜の方へ行ったんだよね。

Hさん: はい、1日目は横浜の中華街に行きま



した。人が多くてわからなかったけど、人に聞くことができました！

2日目はディズニーシーに行って、海底2万マイルとかタワーオブテラーに乗りました。

スタッフ: 確か、ハプニングがあったって聞いたよ。

Hさん: そうなんです。行きの新幹線で、間違えて予約していた新幹線の1本前に乗っちゃった！しかも、帰りも予定していた新幹線に乗れなかったんです…。

でも、親がいなくてもいけそうです！ひとりでも外出できると思えるようになりました。困った時の対処法もわかりました。

スタッフ: 人と話すことが気軽にできるようになったね。もしかして、ハプニングのおかげ？(笑) すごく殻が破れたと思うよ。適応能力が高いなあって感じました。

わからなくなったら一端休んで、なんでも自分だけで解決しようとせずに、頼ってね！

Yくん（高校2年、男子）

スタッフ: 東京は楽しめましたか？

Yさん:秋葉原へ行って、UFOキャッチャーでふりかけをゲットしました。そらまちでうろうろしたり、水族館でちんあなごを見たり…。スカイツリーに上ったときは、すりガラスで落ちないか心配になりました。東京駅のスタバで2人前もたのんで、東京を満喫してきました！

花火も見れたし、なかなか会えないドクターイエローに会うこともできました！！

スタッフ:最初はどうかと思ったけど、駅員さんにもスムーズに聞けるようになっていたね。迷うといっても、目的地にちゃんと着いていたので、自信にしてください。目印があったりするので、辺りをよく見ようね。

Yさん:はい。自分のできることとできないことが明確になりました。人に聞きながら、ひとりで外出しようと思えました。



スタッフも全体をふりかえって…

スタッフにとっても、参加者企画のお泊まりは、いい経験になったようです。スタッフからも感想を聞いてみました。

Aさん:いろいろあったけど結果オーライ！！

高校生の募集人数は5名くらいがちょうどいいと思いました。断ったのは残念だったけど。

Bさん:いい思い出ができたと思う。裏方で頑張ってくれたスタッフのおかげでうまくいきました。今後、自分も気づけるようにならないと、と思いました。

それから、高校生の課題に対するサポーターさん（ボランティアさん）との関わりが難しいと改めて思いました。

Cさん:サポーターさん&ヘルパーさんに感謝！

Dさん:サポーターさんの人数をもっと増やした方がいいな。

Eさん:まさか東京に行くとは思わなかった。自分自身も慣れない土地なので、いろいろ不安だったけど、いい経験ができました。

とにかく暑かった！！熱中症対策しながらがんばりました。

ミーティングの時は、みんなの気持ちがバラバラだったけど、当日はひとつになれた気がしてみんながんばってた。

今年はサポーター集めなどみんながんばったから、たくさん来てくれてよかった。

私が東京旅行で担当した高校生は、50～60年代のロックのレコード集めが趣味で、渋谷のHMVでレコードを買いたいとのことだったので、渋谷のHMVに行きました。

私は店の中や外で高校生を待っていて、気がつけば4～5時間経っていました。

買い物が終わったあと、高校生から、「レコードを買いすぎて夕食と明日の昼ごはんのお金がないかもしれない」と言われたときは、とてもびっくりしました。そして、2日目の大須でもレコード店を制覇していました。

Fさん:『サポーター集め集中&充実 からの～♪ 高校生募集する』ってのはどう？

Gさん:去年感じたことを今年に活かしたいと思いました。高校生と年齢も近いので、同じような目線で関わるのができたと思う。サポーターへのマニュアルが必要と思いました。

Hさん:今回は、サポーター集めのチラシのデザインを変えて、ミーティングの時からサポーターさんに参加してもらう方法にしてみました。早い時期からサポーター集めをした方がいいと改めて感じました。スタッフの人数が増えるといいな。



僕はエンリケス・マルビンと言います。この春からサマリアハウスに入居させてもらっています。まだAJU歴が短いなか僕はこの夏「夏季自立体験プログラム」を通していろいろな事を学びました。



スタッフ初挑戦

僕がこの「夏季自立体験プログラム」を知ったのは高校2年生の頃。翌年、僕は参加者でした。そして去年、夏季自立体験プログラムで自分を担当してくれた方に声をかけてもらい、今年はスタッフになりました。一つのイベントを実行するためにはこんなに大変なのかと実感しました。

まず始めにミーティング。初めてのミーティングでは各自が意見を言ってその意見に対して誰かが意見をやる。という光景を見て少し圧倒されてしまいました。ですが、それを見たとおかげで自分も思ったことを言っているのだと感じ発言させてもらっていました。

次に思い出に残っていることは「夏季自立体験プログラム」の説明会です。ここで僕は司会をやらせていただき、最初は僕の知っている後輩とかが説明会に来ていてくれたので少し恥ずかしかったのですが、しゃべり出すと緊張もほぐれてスムーズに説明することができたと思います。



いよいよ本番

そして、いよいよ本番。初日は軽い自己紹介をして2日目に好きなところへ行くというプログラムだったので内容を高校生と一緒に考えました。朝から夕方までだったので疲れてしまいましたが、無事内容が詰めたので、残った時間でサポーターさんも含めてお喋りをして楽しかったです。

2日目は大須に行きました。夏本番だったのですごく暑かったのですが、室内に入ると涼しいので、温度差で風邪を引かないようにしなくてはと思いました。

新たな取り組み 1泊2日東京旅行

そして、今回新たに取り組んだことがあります。それは1泊2日の旅行！僕は池袋に初めて行きました！ですが、最初に少し困ったことがありました。それは僕以外が全員女性ということ。自分は介助者がいないので高校生もサポーターさんもスタッフもみんな女性でアウェーな気がしていましたが、全然緊張することなく仲良くなれました。

そして東京旅行で担当していた高校生が、アニメやゲームが好きなのでアニメイトなどに行きました。非常に行動力のある女の子で、楽しそうなものがあるとそっちに行くということを一日通してやったので、後半は本人も含めバテバテでした。ですが本人がしっかりしていたので予定通りにホテルに着けよかったです。

東京旅行2日目は秋葉原へ行きました。あまり時間もなくて昼食を済ませてお土産を買っていたら時間になっていました。帰りの新幹線では僕は爆睡してしまいました。

次の日のプログラムからは高校生も僕たちスタッフも、東京旅行を経て気兼ねなく接する機会が増えていたと思います。

全日程を終えて

最終日は全日程のまとめ役の司会を任せられました。時間内に高校生の思い出を聞くのは難しかったのですが、いろいろなことを感じてこれからの課

題も見つけてくれたので、僕としても勉強になりました。去年は参加者が僕ともう一人しかいなかったの、今回は6人に増えて本当に楽しく過ごせました。プライベートでも東京に行きたいなと思いました！

(マルピンくんは、去る9月23日に亡くなりました。
謹んでご冥福をお祈り致します。)



私はアラサー目の前の渡辺美保と申します。生まれつきの脳性まひで、電動車いす使用者です。毎年夏に行っているこのプログラム。スタッフとして関わるのは3年目になります。

今回は少し趣向を変えたものになりました。例年であればすべてミーティングでスケジュールを決めて当日を迎えるのですが、今回はほぼ未決定の状態でした。

目玉企画を決めよう

今回このプログラムに使ってもよいお金があるとの事で、今年が目玉企画は「旅行へ行く」となりました。

さあ次は行き先の決定です。当事者スタッフ・メンバー全員の意見の一致で「東京」になりました。理由は「行きたいから」でした。そこからしばらくのミーティングは東京観光地の検討で時間を使いました。

ここまではとても雰囲気の良いミーティングだったのですが…。話し合いが進んでいく中で2点提案がありました。それは…

- ① どうしてすべてこちらで決めてしまうの？お前らが行くのではなく、高校生たちが行く。旅行先の決定権は高校生に持たせるべき。
- ② 夏季自立体験の企画として行くのだから、修学

旅行にならないように。

この意見を出したのは、このプログラムに対して、また、自立をすることに対してとても熱い思いを持っている2人の先輩当事者スタッフでした。ミーティングのすべての時間を使い熱弁をふるうときもあり、残りのメンバーは修学旅行とまではいわないまでも「楽しむこと」が目的でもよいのでは、という意見でした。2つの意見が対立し一触即発という言葉が似合う状態に。

私は自分の身体の状態が悪化して初の遠出で大きな不安があるため遠出は反対していました。

サポーター募集、初体験

それと同時進行でサポーターの募集。これもこの先輩スタッフからの「なるべく多く募集するように!!!」との意見が出たことから何組かのグループに分かれて、5～6つの大学に募集依頼のチラシを持って行きました。私もサポーター募集の呼びかけをしにS大学へ。

中には内容の説明中に応募を名乗り出てくれる学生の方もいて嬉しかったです。

私はこのプログラムのスタッフになって3年目ですが、この2年間ずっと募集をかけているという影の努力をしていることを知らずに当日を迎えていたため、これが初めての経験でした。

とても良い人生勉強をさせてもらいました。

そして6月下旬に説明会を行いました。そこでは遠出旅行ということのみを伝え、行き先は後日高校生自身にサマリアハウスに来所してもらって決めることにしました。

参加者全員の行き先が決まり結果を見てみると、5名が東京希望、1名が神奈川（横浜）希望でした。

東京観光してみよう

私は、女子高生1名、サポーター2名、職員1名で上野動物園、東京スカイツリー、渋谷109、お台場へ行きました。

渋谷109では5名が2チームに分かれて行動

していたので、女子高生が体験したことやどんな気持ちだったか、その場で共有する時間を作れず、最後の反省会の所で、やっと話を聞くことができました。

お台場では TV 企画のイベント開催期間中で大勢の人がいて盛り上がっていました。女子高生と国民的アイドル出演で放送しているゲームのブースを見つけて興奮しました。しかし整理券配布の時刻が終了していて断念。夜遅かったことから適当に周囲を見学してホテルへ戻りました。

夕食時に翌日の予定を確認する時間を取りました。スカイツリーと上野動物園に行く予定をしていましたが、帰りの電車の時間が 15 時台だということを考えて予定を組まなければなりません。女子高生の思いは両方行くことを希望していました。私が少し時間がない事を伝えると頭を抱えたまま 30 分程経過…。結局決められず短時間で両方行くことに。

緊張&不安！外出先での宿泊

ホテルの中のお風呂はもちろん自宅のお風呂とは設備が異なっていたため、どのように移動しようかと悩みながら入浴しました。自分でできることが減ったので、どの部分をどういうふうに介助してもらえばよいのかの指示を悩みました。

その時々体調によってできることとできないことがあるので、改めてできないことを理解しなければいけないと感じました。

初日に計画していた予定はなんとか全部終了したのですが終了した時間が遅く、26 時 30 分頃に就寝しました。

スカイツリーに長時間いて帰りの電車の出発時刻まで残り 1 時間となった時のこと、同行していた女性職員の判断でバスに乗車することになり、私はまた悩みました。そうしたら両脇を抱えられ、少々恐怖感がありましたが乗ることができ無事帰りの電車に間に合う事ができました。

今回の旅は私にとって初体験・初挑戦のことばかりでした。旅行したメンバー全員が無事に名古屋に帰ってこられたことが良かったです。



デジモ/大好き 52 歳、スマホデビュー！？

小島功です。こんにちは。

福祉情報誌記者・小島万智の旦那です。重度脳性マヒの2次障害に加えて、更年期障害と今夏は胃腸炎にも苦しむ 52 歳です。同じ障害のある奥さんとは結婚 19 年、高 1 の息子と 3 人家族の楽しい生活？を過ごしています。（人生あきらめが肝心ね）

ともあれ久しぶりに新しモノ好きに火が付いた製品「通称：ガラホ」を紹介します。



ボクが購入した製品

製品名：シャープ
AQUOS K SHF32
キャリア：au
種別：ガラホ



●主な特徴・ガラホとは

見た目も操作もガラケーそっくりのスマートフォンのことです。ただし Web 表示などインターネット機能はスマートフォンの便利な機能が使えるのが特徴です。

本機にタッチパネルがなく、搭載されている多くの機能をキー操作で行えるため、ボクみたいな上肢障害などにより、スマホ購入や利用を諦めている方にもオススメです。

またガラケー並みの本体価格と au 独自の新たな月額料金の設定はとてもサイフにやさしく、本体が LTE 回線を使う Wi-Fi デザリングにより、外出先でも快適に携帯ゲーム機やタブレットが使える便利な機能も魅力です。

ガラホ購入のいきさつ

何年前かスマホ製品が広まりつつある頃、シャープ製で本機のようなガラホっぽい機種が発売されたので、新しモノ好きのボクはすぐ飛びついたが、実際に使ってみるとテンキーのおまけつきスマホの印象で、キーで文字入力すると意図せず連打してしまい、タッチパネルも思うように反応せずがっかり。2年間利用契約の縛りがあるし我慢して使うしかないと思いました。

不覚にも、どこか歩道に紛失してしまい、それを機

にガラケー新製品の京セラ GRATINA に戻しました。

このガラケーは安くて軽くて操作が速いし、バッテリーも待ち受けだけなら最高2週間はもち、充電の手間が少ない。従来のガラケーのイメージを覆す優れモノだったので、これで実用十分と開き直って使うことにしました。

一点だけ寂しいのは Web 閲覧で、3G ケータイでは通信情報量の制約上何とも遅いし、表示領域は狭いし、多機能でないことです。

ポケット Wi-Fi もガラケーと一緒に購入して大きめのタブレットを何度か操作してみたけど、使う度にカバンからポケット Wi-Fi を引っ張り出すのは、無精なボクにはとても面倒であることに気づかされました。こちらも2年間利用契約の縛りがあるため、宝の持ち腐れ状態を来年1月まで続けなければならない。

今年2月シャープから本格的ガラホ発売のニュースに心躍らされました。こちらの製品情報を調べていくと、本体は高速な4GLTE回線なのに、電話は従来の3G回線…、シャープ曰く開発がガラホ発売に間に合わなかったらしい。実用上は大差ないのだろうけど、機能や性能にこだわってきたボクは次の機種に期待して春製品の購入を諦めました。

今年5月シャープが「ガラホ後継機発売！こんどは4GLTE かつ待望の VoLTE に対応」のニュースが目飛び込み、「au はガラケー並みの月額料金プランを設けます」という朗報にまた心躍らされました。なお「発売は7月中旬です」まだ2ヶ月近くあるがや とつぶやきつつ、とにかく待つことにしました。

購入するぞお！でも…

Web 情報で「シャープ AQUOS K SHF32 発売日は 7 月 17 日(金)です。」と知り、発売日に au ショップヘダッシュ！製品情報を十分持ち得たつもりでとんとん拍子に購入手続きは進んでいったのですが、ふとしたことから、充電器の疑問にぶち当たりました。

いさ:ガラケーみたいに本体を置くタイプの充電器ありますか？

店員: AC アダプタ型の充電ケーブルはありますが、本機にはまだありませんね。

いさ:ならば2月発売初代機の充電器は使えますか？

店員:ありますが本機の情報にはまだ掲載がないですね。

いさ:USB ケーブルは挿しづらく充電しにくいのであれば購入は止めます。

ということで、がっかりしてショップを去ったのでした。

翌日、ネット検索で製品情報を調べたら、充電器の製品名称は「卓上型ホルダー」と分かり、このオプション品は充電可能なことを店員が知らなだけでと推察して、再度 au ショップへ。

けれど夏休みに入ったこの日はお客さんが多くて 90 分待ちらしく、今回もあきらめました。



しばらく経った平日に3度目のショップ訪問。調べた資料を見せて、「あの一、ガラケーみたいな充電器とは卓上型

ホルダーと呼ぶようだけど、これで充電できますよね」と訊いてみたら、今回は au サポートセンターに問い合わせられて、「充電できますが、中部地域には在庫がありませんのでお取り寄せで数週間はかかります」と店員。「ちょっと USB ケーブルは挿しづらく充電しにくいけど今日は購入します」とようやく入手しました。

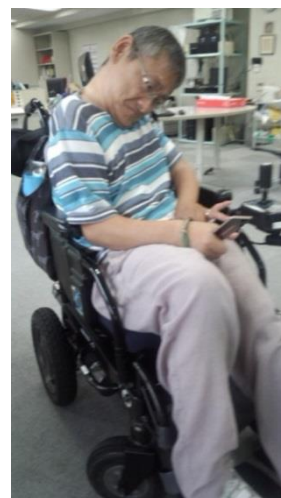
購入書類は1カ所サインを求められましたが、店員にお願いしたら代筆してくれ、アドレス帳の移行やストラップの付け替えも気前よく対応して

くれたので、爽快な気分でショップを後にしました。

ガラホを使ってみての感想

定評通り、見た目も操作もガラケーそっくりのスマートフォンで、ガラケー利用者が機種交換しても違和感なく使えます。

さっそく気になるWeb表示も使ってみました。表示速度は速いし、スクロールは上下キーで操作可能で、至って快適な印象でした。



ただし Web の拡大縮小表示はテンキー上で二本指を開いたり閉じたりの操作でするらしく、この操作を含めて指でテンキーの上をなぞるとポインタが移動する機能も盛り込まれ、タッチパネル代わりにもなります。

購入時にあれほど気に掛けたマイクロ USB 接続のケーブルによる充電も意外に差し込みがやりやすく、これなら卓上型ホルダはなくても良いかと感じました。

電話の音声はすこぶるキレイに聞こえるし、後日購入した卓上型ホルダは充電器として使いやすいが、充電中は本体背面に時刻表示されると便利ではないか。

それとガラホ本体は Android スマホなだけに、パソコンでも入力管理できる予定表やアドレス帳の情報が Google のクラウドサービスと共有できないのは残念でした。

いずれも今後バージョンアップによる製品改良に期待したい。最近買って満足するデジモノが少ない中で、久しぶりに満足するスマホ（ケータイ）に出会えました。

まちのつぶやき:なんか、旦那様がニコニコしてるなあと思ったら、また新しい物を買ってたなあ。

AQUOS K SHF32 ガラホ

検索



ランドセル俳人の五・七・五

出版社 ブックマン社
著 者 小林 凜
発 行 2013 年 4 月 18 日
価 格 ¥1,296 (本体¥1,200)



みなさんこんにちは、小島まちです。

突然ですが ♪今はもう秋♪ ということで今回は読書感想文に挑戦してみました。実は私、学生の頃は本を読むのが苦手でした。理由は一人で本屋さんへ行くことが出来ず、自分に興味がない本を読もうとしても、細かい字を見ただけですぐに挫折していました。だから夏休み課題とかで読書感想文が出ると、その本の前書きや後書きを読んで適当にごまかしていたことを思い出します。

さて、私がご紹介する本は「ランドセル俳人の五・七・五」 筆者は小林凜君という小学生の男の子ですが、小学校に入ってからすぐに「いじめ」を受け、それでも俳句を詠むことで生き甲斐を生み出し、ご家族も「不登校」という理不尽な選択肢を選んで凜君を応援していくというノンフィクションです。

春の句

ブーメラン返らぬ蝶となりけり

いじめ受け土手の蒲公英 (たんぽぽ) 一人つむ
躑躅 (つじ) もえ怖ろしい程色の濃き



なんと944グラムという超低体重児で生まれた凜君。医師からは「まずは3日待ってください」とのこと。ご家族は祈る思いで凜君の生命力に掛けていたことでしょう。その甲斐もあって凜君は命を繋ぐことができました。ところが超低体重児で生まれたため、感染症にもなりやすく、乳児期は病院で過ごすことも多かったようです。それでも幼稚園は地域でごく普通に過ごせました。その

頃から自分の思いを五・七・五で表すようになったようですが、悲劇は小学校に入学した途端に始まりました。超低体重児でのリスクで身体の発育が遅いため、歩き方は両腕を横に広げてバランスを取りながらゆっくりと歩くことで「オバケみたい」と言われたり、後遺症で頭が大きいために「岩石あたま」とか「胎児あたま」などとバカにされていた。また暴力も受け、突き飛ばされたり、顔や身体にあざはしょっちゅうとのこと。しまいには「障害者は学校へ来るな」という、とても卑劣な言葉を浴びせられていました。

そんな中でも凜君は学校の帰り道や、おばあちゃんと犬の散歩の途中で自然にふれあい、俳句を詠んでいました。

夏の句

穴の主七年眠り夏の空
かき氷含めば青き海となる
万華鏡小部屋に上がる花火かな



小学1年生にして壮絶な「いじめ」を受けることになってしまった凜君やお母さんは、当然担任の先生に訴えました。しかし、その対応は酷いもので、いじめた側の言い分ばかりを聞き入れ、凜君の辛い思いはほとんど伝わらないという悲しい状況でした。もし息子が同じ立場にあったら、私は迷わず教育委員会等へ訴えていると思いますが、凜君のお母さんの職業は教員だったので、立場上難しかったのかなあ・・・?(これは私の推測ですが)

秋の句

ススキのほ百尾のきつねがかくれてる

秋晴れの心の晴れぬいじめかな

吟遊や月が見守る野原行く

今、社会ではインクルーシブ教育が広まりつつある中で、「障害者は学校へ来るな」という言葉を子供たちに言わせてしまう。そんな学校がまだまだ実在するのです。思わず「みんな違って、みんな一緒」って書いたプラカードを、その学校の教室中に貼りまくりたいと思いました。それともう一つ、「転校する」という選択肢は選べなかったのかなあ??いろいろな事情もあるでしょうが、義務教育ってやつはやり直しが難しいですよ。凛君にとっての小学校生活は不登校で終わってしまうのはとても切ないです。ああ、うちのも小学校からやり直してほしいと、何度も思うことか…

冬の句

影長し竹馬のぼくピエロかな

オペ受けて麻酔切れたり冬の空

水仙やセラピーされる僕だけど



これまでの春夏秋冬の俳句は、私が個人的に良いなあと思って選びましたが、他にも素晴らしい俳句がたくさん詠まれています。是非ともご覧になってください。

最後に、おこがましいですが、私も俳句を詠んでみました。

新入生歩く桜のカーペット

風鈴の音消し怒鳴る母息子

秋深き読書するぞと夢の中

木枯らしのフィギュアスケート4回転

赤とんぼ羽根を取ってはいけません

(ごめんなさい)

やったね！！

愛知 TRY の活動が「市民活動賞」を受賞

8月8日(土)、9日(日)、東京大学柏キャンパスで開かれた日本福祉のまちづくり学会・全国大会において、第6回学会賞の表彰式が行われ、本誌で繰り返し取り上げてきた愛知 TRY の活動に市民活動賞が授与されました。

<http://www.fukumachi.net/prize/history.html>

「愛知 TRY の活動」に関する講評⇒

「差別をなくそう愛知から」をキャッチフレーズに、障害者差別解消法の周知及び、愛知県・名古屋市での障害者差別禁止条例制定をめざして、若手の障害当事者たちが中心となって立ち上がった団体およびその活動であり、現在も発展的継続的な活動として進められている。愛知県内各地のお店（テナント）をまわり、「お手伝いします」ステッカーを貼ってもらう活動を展開するなど、市民に障害者差別解消法の啓発や入りやすいお店を増やす取り組みを行っている。これはマスコミに数多く取り上げられ、市民の協力も広がってきている。障害者差別解消法の実施に向けた当事者自らの活動として高く評価できる。



活動に参加してくれている学生ボランティアや応援してくださっている皆様のおかげで、このような賞を頂くことができました。本当にありがとうございます！これからも楽しく長く活動をしていきたいと思いますので、今後とも愛知 TRY をよろしくお願い致します！

空に止まったままのボール

堤 剋喜

中学校のテニスコートと公園は地続きで、柵で仕切られているだけ。
テニスコートと運動場との間を公道が通っている。そのため、二つのグラウンドを一体活用できず、テニスコートは飛び地だ。
真ん中の道路を学校の敷地に組み入れて、運動場を広げよう、という話はあったものの、元的地権者から、「道路のために土地を寄付したのであって、学校に寄付したつもりはない。現に、道路として使われているではないか」とクレーム。
確かに投票所への通り道で、生活道路ではある。結局、運動場の拡張は実現しなかった。
行事や体育の授業で使うサブグラウンドというには狭すぎるから、テニスコートに。
テニス部員以外の生徒にとっては、行く必要のない場所だった。なぜテニス部だけ優遇？と少し不思議に思っていた。

放課後の部活動は、近隣の年長の子どもたちが公園で遊ぶ時間帯と重なる。
練習なのだから、いろんな方向にボールはそれていく。拾い損なって公園の方に転がると、中学生のテニス部員より先に小学生が拾い上げる。素直な子は自分から返したろうし、説得次第では、元気のいい子でも返したろう。
けれども、大概、校外に出た時点で、ボールの回収はあきらめてしまったようだ。軟式のテニスボールは、安全なおもちゃ。
無理に取り上げるのもかわいそうだし、へたに泣かせたら、後々、年上の方が分が悪い。何より面倒だ。
そんなわけで、備品の中で、テニスボールの消耗、というか消失率が特に高かったそうだ。
といっても、ボールの使い方と場所が少し変わるだけだけれど。

テニスコートの隅に焼却炉があって、朝の始業前に煙突から黒や白の煙が出ていた。
桜の木の落ち葉が多かったが、書類も燃やされていた。校内の美化と、職務上の機密漏洩防止（証拠隠滅もきっとあったと思うが・・・）に大変重要な役割を果たしていた。
学校の運営上、テニスコートよりも焼却炉の方が大事で、校舎の防火を第一に考えると、道路に面した飛び地に設置するのが得策。
焼却炉の周りに、可燃性のネットは張れない。
ボールがなくなることよりも、失火してけが人が出る方が怖い。そんなところだろう。
（震災や原発事故等の陰に隠れてか、最近ではほとんど話題に上らなくなった気がするが）
例のダイオキシン騒動のあおりを受けて、焼却炉は撤去された。
そのかわりに（？）今はナイロン製のネットがぐるとテニスコートを囲んでいる。

公園のブランコの手前にベンチがある。そこに腰掛けた。
手元には出始めの自動焦点カメラ。（被写体に超音波を当てて、そのはね返り具合で、距離を測る。工学的にコウモリの狩りをまねた機械。
次兄曰く『猿でも撮れるカメラ』つまり、シャッターを押せば、写真の出来不出来は別として、何かが写る、という意味。
手触りが僕の性に合っていて、モーターが焼ける臭いがするまで、8年ほど使った）
そのとき、カメラの中に装填してあったのは、白黒のフィルム。空は晴れていた。

7歳くらいの女の子が二人、連れだって公園に入ってくる。
テニスコートとの境にある柵のところで、適当に離れて向き合う。
一人は大きめのボールを持ってきた。
『ここなら誰の邪魔にもならないから、ボール投げをして遊ぼう！』
二人の声は聞こえなかったけれど、ボールの行き来が始まる。

片手で投げるには大きすぎるボール。
まず、両方の手のひらでボールをはさみ、下から斜め上に投げる。
受ける子は直接両手でとるか、胸に当ててからボールを捕まえる。
勝ち負けを競う遊び方ではない。ボールはゆっくり、きれいな放物線を描く。
カメラのシャッターを何度か切った、フラッシュは要らなかった。
フィルムを巻き上げるモーターの音は、たぶん僕にしか聞こえなかったろう。
二人ともなかなか上手で、見ている間、ボールが地面に着くことはなかった。



白黒フィルム用簡易現像キットを買うには買ったけれど、結局、使わずじまい。
作りと暗室不要という点は簡易、簡便といえた。
でも、使いこなすにはそれなりのコツを覚える必要があって、簡単ではなかった。
失敗して、撮影済みのフィルムを無駄にするのはいやだ。写真店に頼んだ方が安全。
後日できあがってきた写真には、子ども二人とその間を結ぶ放物線上に静止したボールが、とにかくにも撮れていた。
僕には珍しく動きのある一枚になった。
そもそも写真は被写体の時間の流れや躍動をせき止めて、残そうとするものではないか。
動きのある写真？ これは形容矛盾かな。
ともあれ、たまたまカメラで遊んだおかげで、楽しいで穏やかな光景と、
「理科や数学で習ったけど、放物線って本当にあるんだね」
というく遅まきながらの発見が目の中に残った。

この公園、平日の昼間にゲートボールをする人たちで賑わった時期もあった。
ゲートボールの対戦チームの皆さんが集まる頃合いには、競技に関係ない通行人にとって一種、妙に近寄りたがたい雰囲気が漂っていた。
それで、公園の中を斜めに通る方が近道になるときでも、遠慮して遠回りした覚えがある。

いつの間にか『公園の中ではボール遊び禁止』の立て札。
あのボール投げの風景を憶えていてよかった、と思う。
しかしながら、
「人や地域社会に備わっていたはずの許容範囲が狭まり、寛容さが弱まっている」と公設の立て札が暗示しているとも解釈できそうだ。
そうすると、たとえ、ブラック・ユーモアとしてでも、笑うに笑えない心境である。

旅の空から

皆さん、こんにちは。いつも旅行情報を掲載していただいている（株）チクトラベルセンターの松本です。さあ、食べ物美味しい季節がやってきました。体重が増えるのが心配という人も、とりあえず食べてからダイエットを考えましょう。



さて、今回は毎年秋に開催されるJATAツーリズムEXPOジャパン2015についての報告です。以前は世界旅博という名前でしたが、昨年から国内観光PRも合同となったため名称が変わりました。お台場のビッグサイト国際展示場の東側すべてのホールを使っの巨大なイベントです。入場者数は173,602人と集計が出ていました。会場は広くなってもその分来場者が多いのでやっぱり大混雑となりました。

わかりやすい表示



各ホールに入る入口には「日本」「アジア」「北米」など大きく表示が出ていますので旅行したい地域のブースがすぐにわかります。また天井からも「アフリカ」「ヨーロッパ」などの大きな垂れ幕があるためその真下に行けば行きたい場所のブースが集中しています。

場内の食事

日本の都道府県や市町村、鉄道、観光連盟などの横には全国から勝ち抜いた16の「ご当地どんぶり」が並んでいて、食べたものに投票をするという楽しいイベント。そしてワールドフードコートは世界のグルメが並び、さまざまな食べ物が販売されています。ただあまりの行列に短い休憩時間ではとても待ちきれないため、私はコンビニで弁当を購入して食べました。

ステージイベント

広い会場内には3つの特設ステージが設置してあり、歌あり踊りあり、和太鼓や補助犬のデモンストレーションも行われました。K-POPの有名グループがステージに上がった時は、おっかけファンの声援でものすごい盛り上がりでした。ステージ前の観客席がノリノリになってくると踊りや演奏も派手になってきて大音響となってきました。ブースで説明をしていた私はまったく声が聞こえない状態になってしまい、演奏が終わるまで休憩のようになりました。このような会場内では音量を計るチェックスタッフが常に見回っていますが、このときはちょうどスタッフがいなかったようで、あちらこちらのブースから苦情が出ていました。

ゆるキャラ



会場内を賑やかにするのは歌や踊りだけではありません。各地のゆるキャラが場内を歩いており来場者と一緒に記念撮影をしてくれます。カメラを向けるとポーズ

を決めてくれるキャラもあり、サービス精神旺盛です。お城のキャラもありますが横幅が大きすぎてまともに歩くと人とぶつかってしまい、係員に手を引かれて横歩きしていたものもありました。これには思わず笑いました。ハワイ観光



局は妖怪ウォッチのジバニャンをキャラクターとして登用して来場者と一緒に記念撮影大会。これは子供たちに大人気で順番待ちのちびっ子たちが嬉しそうでした。

各ブースでのイベントや展示

出展のブースでは趣向を凝らしたイベントも開催されています。声優のトークショーやインドの踊り、民族楽器の演奏、そして奈良のブースでは大仏さんの実物大の手が展示されており、思わずハイタッチしようかと思ったら、「お手を触れないで下さい」の文字が…残念。



コロンビアなどはコーヒーを無料提供してくださるのでとてもありがたいです。ワインや日本酒を試飲させてくださるブースもあり、会場内を赤い顔で歩いている人も多いようでした。日本たばこ産業もブースを出しており、こちらはタバコではなくて携帯用灰皿を配っていました。「2つどうぞ。」といわれて愛煙家の私は思わずニンマリ。トルコブースではココナッツを使ったお菓子をいただき、初めて食べたのですがとても美味しいものでした。

クイズ大会は誰もが参加できる〇×式のものやマニアックなものまであります。賞品ゲットを目的に真剣に参加する人や決勝戦まで勝ち残ったご夫婦がわざと〇と×別々の答えを出して見事に賞品をもらった人も。

豪華旅行が当たる抽選会や、自分で作った紙飛



行機を飛ばしてうまく穴に入れば商品ゲットというもの、映画スターウォーズの R2-D2 ロボットの塗装を施した最新鋭の旅客機モデルなど、来場者を楽しませる展示やイベントばか

りで全部のブースを回っていたら疲れ果てて旅行気分が消えそうです。(失言！)

車椅子でのご来場

旅行が好きな人にはもちろん障がいのある方々もいらっしゃいます。今年も車椅子で来場なさるお客様が目立ちました。

車椅子をご利用だからと言って、何もバリアフリーの観光地や国を希望なさるわけではありません。行きたい場所、行きたい国、食べたいものを求めて、車椅子の後ろに掛けた袋がはちきれんばかりの資料を集めていらっしゃる方もありました。私たち JATA バリアフリー旅行情報ブースには、まだ旅慣れしていらっしゃる方々が相談にいらっしゃるのですが、アレルギーのある子供さんとご一緒のお母さんから食事の相談や、電動車椅子のバッテリーのこと、海外のバリアフリー状況などを質問なさる方などさまざまです。エジプトのブースで資料を貰われたお客様が私たちのブースに来て「エジプトへは車椅子で大丈夫ですか？」と質問されました。その方の顔は「行きたい、行きたい」のニコニコ顔で、すでに心はエジプトという感じでした。完全バリアフリーを望まなければエジプトだってケニアだって行くことは可能です。

特別セミナー

「ヨーロッパの美しい村 30 選」という特別セミナーも開催され、各国の政府観光局等により画像を用いた説明会プログラムもありました。写真家や観光局の担当者が初心者にもわかりやすく紹介するもので漠然としたヨーロッパ旅行から目的を持った旅行にしたいという方から好評でした。

掘り出し物

昨年も大好評だった JATA 東北復興支援チャリティーオークション 2015 も好評でした。旅行業界企業や団体から寄贈協力いただいた品物や自社製品などが展示され、来場者が希望価格を記入して応募すると一番高い値段をつけた人に落札さ

れる仕組みです。中には即売価格〇〇円と書かれたものもあります。通常では手に入らない珍しい品々もあり、ご存知の方は真っ先にこちらにいらっしゃるようです。マニアに人気のある品物を格安で手に入れられて満足なさる人も多いようです。宿泊券、海外行き航空券などは応募が少なければ値打ち価格で落札されるので、まずは記入して応募箱に入れることですね。

楽しい企画

世界有数の絶景やフォトスポットをバックに旅の思い出を「前撮り」できるブースも。撮影した写真は（合成写真）イベントの思い出として持ち帰り可能です。実際に旅行をしていなくても友人に見せて自慢することもできますね。あ、これでは私たち旅行業界は困ります。

バリアフリー旅行情報ブース

私たちの JATA バリアフリー旅行情報ブースは補助犬の PR 活動の場としても活用していただきました。

今年は盲導犬、介助犬、聴導犬が PR に訪れて来場者に愛想を振りまいていました。聴導犬は短く毛をカットされたヨークシャーテリアでしたが、あまり小さくて来場者に気がつかれないようでした。

た。横から顔を出すと、「あれっ？わー、ちっこい」と人気の的でした。ステージでのデモンストレーションも客席が満席になるほどの人気で寄付やPRグッズの販売も好調のようでした。



今年も盛大に開催された JATA ツーリズム EXPO ですが、すでに来年の開催日が決定しています。

2016年9月24（土）～25日（日）です。東京旅行の際にはぜひお立ち寄り下さい。

観光庁長官登録旅行業第735号

(株)チックトラベルセンター

ハートTOハート事業部

松本 泰守（まつもと やすもり）

ハートTOハートを担当して20年目

〒460-0003

名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F

TEL (052) 222-7611

FAX (052) 212-2778

matsu@tictravel.co.jp

《インドブース》



《エジプトブース》



《コロンビアブース》



チックトラベル ハートTOハート

<いつでも出発可能！個人旅行やグループ旅行>

旅行に行きたくなったらすぐに準備しましょう。
ハート TO ハートの個別プランは行きたい場所、見たいもの、食べたいものを取り入れたオリジナルプランです。航空券+ホテル+専用車（リフトカーも可能）でもOKです。

☆ドイツのクリスマスマーケット☆

ドイツのクリスマスマーケットはきらびやかな飾りつけと屋台での熱々のソーセージとホットワイン。ドイツの人たちが一年で一番楽しみにしているシーズンです。夜になると街中に屋台が開店して人々は笑顔で立ち寄っています。豪雪地帯ではない都市部はお勧めの観光地です。

☆ロサンゼルスへの旅☆

ロサンゼルスは地下鉄路線が充実しているので個人でお出かけいただいても動きやすいところです。もちろん車椅子をご利用でもエレベーターなどの設備は整っています。ユニバーサル・スタジオには地下鉄を降りて簡単にアクセスが可能です。

☆香港とマカオの旅☆

名古屋から便数の多い香港は出発時間帯が選べるのも魅力です。マカオでは噴水ショー、や世界遺産、食いしん坊さんにはマカオ発祥のエッグタルトがお勧めです。ご希望の方にはリフトカーも手配可能です。香港ディズニーランドは日本よりも新しいアトラクションが楽しめます。

☆バリ島でシュノーケルの旅☆

バリ島ではまったく歩行が不可能な方でもシュノーケルが可能です。慣れたサポーターがお手伝いいたします。ホテルではバリアフリールームをご用意しますので、のんびりお過ごし下さい。ご希望の方にはリフト付きのワゴン車もご用意します。

☆シンガポールで地下鉄旅☆

シンガポールは地下鉄の整備がとても素晴らしく、安心して行動ができます。話題のマリーナベイサングズホテルや高級なリッツカールトンでちょっとリッチに過ごすのもお勧めです。世界中のグルメが揃っていて食いしん坊さんも大満足。

☆沖縄でのんびりの旅☆

名古屋が涼しく感じるようになるといよいよ沖縄の観光シーズンとなります。天候も落ち着いて海も透き通ってきます。石垣島と組み合わせて本島も観光することもお勧めです。行動派の人には那覇市内のホテルでライフハウス巡りも楽しい思い出になります。

☆北海道への旅☆

美味しいものがいっぱいの季節になる北海道。このシーズンはカニが一番美味しくなります。地下鉄路線が整った札幌市内ではラーメンや寿司の美味しい店を巡ってみても楽しいです。

☆九州の温泉巡り旅☆

鹿児島県の温泉巡りです。楽しい福祉タクシーの運転手さんがバリアフリー温泉にご案内します。入浴リフトが必要な人には設備のある貸切温泉をご利用可能です。

<気軽にのお出かけプラン>

リフト付きの福祉タクシーにて友人と出かけるお気軽プランはいかがでしょう？コースの作成と手配はハート TO ハートにお任せ下さい。最低4名様（車椅子2台固定）から出発可能です。

- ① 清水、マグロと寿司三昧コース
- ② 福井で恐竜を楽しむコース
- ③ 長野のバリアフリー農園でのリンゴ狩りコース
- ④ 滋賀県の歴史巡りコース
- ⑤ 各地のスイーツを味わうコース

■申し込み・問い合わせ■

観光庁長官登録旅行業第 735 号 日本旅行業協会正会員
(株)チックトラベルセンター ハート TO ハート
〒460-0003 名古屋市中区錦 1-20-19 名神ビル6F
TEL:052-222-7611 FAX:052-212-2778

【月～金 09:30-18:30 土日祝休】

<http://www.tictravel.co.jp>

〔担当〕松本：matsu@tictravel.co.jp

福祉用具のリサイクル情報 (15/10/3 現在)

欲しいもの、不要なものはありませんか？

リサイクルの輪を広げよう！

なごや福祉用具プラザで、福祉用具のリサイクル品の
コーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額のないものは無料です。

★ベッド、床周り品

- ・オーバーテーブル
(KQ623用 パラマウントベッド) 14 年使用

★移動用品

- ・電動車いす
(ティルト式 イマセン 要バッテリー交換) 2 年使用
- ・段差解消機
(スマートリフト S120 ハナオカ) 要相談 3 年使用
- ・床走行電動昇降いす
(コロロ コムラ製作所) 不明

★入浴用品

- ・入浴用チェア
(背もたれあり、肘掛なし) 未使用

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ【木製】
(不明) 1 年使用
(不明 パナソニック) 2 ヶ月使用
- ・ポータブルトイレ【プラスチック製】
(安寿 FX-CP ソフト便座 アロン化成) 数回使用

★その他

- ・足浴器 (冷えとり君ニュースーパーマイコン)
要相談 4 年使用
- ・Vステップ (靴) 中敷き 27 cm 左
- ・スライディングボード
(イージーグライド L パラマウント) 不明
- ・CD 録音図書再生機
(プレクストーク PTN2) 5 年使用
- ・口腔ケアガーゼ 未使用
- ・介護ねまき
(タッチホックタイプ L ケープ) 未使用

★洗浄消毒、点検整備済中古車いす★

- ・介助式車いす
(超軽量多機能型 ミキ) ￥49,800
- ・自走式車いす
(AR-501 松永) ￥39,800
(M-43K ミキ) ￥39,800
(SKT-4 ミキ) ￥49,800

※なお、中古商品の販売も行なっておりますので、
ご要望等ございましたら、お問い合わせ下さい。

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・1、2、3 各モーターベッド、幅の広いベッド
- ・各マット (体位分散、エア、ロホ)
- ・サイドテーブル

★移動用品

- ・各車いす
(手動、簡易電動、介助用、リクライニング)
- ・子供用車いす、バギー、PCW
- ・マイリフティ ・つるべ床走行式リフト
- ・JW1 か JW2 のバッテリー
- ・歩行器 (馬蹄型)、歩行車
- ・シルバーカー、四点杖
- ・段差解消機 (屋外用)

★入浴用品

- ・入浴用車いす (安楽キャリー B タイプ)
- ・入浴用チェア ・バスボード

★その他

- ・スロープ (折りたたみ) 900cm、2M、2.5 M、3M
- ・座位保持用クッション ・ロホクッション
- ・車いす用座位保持ベルト
- ・置き型手すり ・車用つり革
- ・昇降座いす ・紙おむつ

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

<福祉用具についての問い合わせ>

なごや福祉用具普及協議会代表事業者

(株)メディケア リサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

い り り 情 報

ひかり鍼灸院 東洋医学体験談



ひかり鍼灸院のマッサージを受けられた方から、体験談をいただきました。ひかり鍼灸院さん（最後のページに広告掲載）は、健康保険が使える訪問マッサージ・リハビリです。お困りの方は、お気軽にお電話を！

施術の経過報告

施術者 山崎 直樹

患者名 Y. M（63 歳）2014/01 開始
（2010/11 初療）

治療開始時の状態：

この方は以前からひかり鍼灸院で治療をしていて途中から私が担当となりました。

現在週3回、私と別のスタッフの2名で施術にあたっています。

今回、このような場でお話をさせてもらってもいいですか？と伺ったところご快諾して下さいました。

ご本人とはまだしっかりと会話ができないため奥様からお話を聞いております。

平成15年頃に脳梗塞、平成22年に脳出血を起こしています。レントゲンでは出血のため脳の2/3が真っ白になっていたそうです。右半身マヒと拘縮といって肩や肘などの関節が固まってしまう、言語障害、主に話したい単語が出てこないといった症状がでています。当時医師からは杖や装具をつけないと歩行はできないと言われていました。

施術内容は、右上肢の拘縮がこれ以上すまないようにマッサージおよび可動域訓練、立位での片足立ちによるバランス訓練、階段昇降運動（2往復半）を行っております。

施術の状況：

右足、肩、肘、手首の関節が固まっているのでマッサージと関節の動きを良くする運動を行っています。奥様からは、特に冬場の手足の冷えが改善されていて、以前はかかせなかった手袋が最近はしなくても平気になったとのことでした。

次に左手を補助しての片足立ちです。昨年までは右足を上げることだけ行っていたのですが、今年に入ってマヒのある足を軸足として左足を上げることが出来るようになりました。また、補助の仕方も以前

は肩を組んでしっかりと支えていましたが現在は階段の昇り降りと同じ姿勢になるように腰の高さで手を持つだけにしています。

この方は生活スペースが2階にあり、階段の昇り降りが必要となっているので安定して出来るように練習をしています。毎回タイムを計って変化を記録しています。昇り降りともに昨年は1分5～10秒だったのですが、現在は1分前後で1分を切る時多くなりました。普段の歩く速さも速くなったと周囲の方から言われるようになったそうです。また、この方は糖尿病を患っているのですが、糖尿病には運動がとても良く、この階段の昇り降りの効果もあって血糖値は安定しているとのことでした。

また、病院で言語に関するリハビリも行っており、話す言葉も増えてきて、語彙力も上がってきています。主治医からは年数が経ってこれだけ回復することは珍しいとおっしゃっていたそうです。日常の変化としては奥様が他の人と話している時に割り込んでくるようになったそうです。これは周りの会話を聞いて理解しているから出来ることで、以前は1対1で話して答えるというキャッチボールのような会話だったと聞いております。

この方は現在の状態に回復するまでに5年以上かかっています。年齢が若いということもありますが、コツコツと継続してマッサージ、リハビリを続けたことが良い変化につながったのだと思います。

奥様は常々「継続は力」とおっしゃっています。リハビリは何年という長い時間がかかります。でもこの方のようにあきらめず続けることで良くなるということを知っていただき、何歳になっても元気で生き生きとした毎日を送ることを目指してもらえたらと思います。

当院を利用される方は、病名に関わらず歩行困難の方や寝たきりの方が対象です。

**体験クーポン
無料券
マッサージ
または鍼灸
20～25分**

1回体験（マッサージまたは鍼灸 20～25分）中です。こちらの「体験クーポン無料券」を、マッサージの担当者へ渡して下さい。

緑区 ひかり鍼灸院

検索



読者の秋パート2 おすすめ電子書籍アプリ特集

読書の秋の真っ盛り。でも紙の本ではページがめくれない、字が見にくい、重たくて持ちにくい、部屋が狭くて本を置くスペースがない、など困っている人たちもいるのでは？ボクもその一人です(笑)

最近は、パソコン・スマートフォン・タブレット・電子書籍リーダーから本を読むことが出来ます。字が大きくなる、音声で読み上げる、クリックするだけでページをめくられる、読みたいページに移動できる、など色々便利です。支払い方法はクレジットカード決済が多いですが、コンビニでプリペイドカードを購入される事をお勧めします。

【Kindle(キンドル)電子書籍アプリ/リーダー】

対応端末：

Android 対応スマホ・タブレット/iPhone/
iPad/Windows 対応パソコン/Mac 対応パソコン
Kindle 電子書籍リーダー本体

アプリダウンロード料金：無料

アプリダウンロード方法：

Android…Google Play から検索
iOS・Mac…AppleStore から検索
Windows…Amazon ホームページから検索

電子書籍リーダー価格：10,980～25,980 円 (込)

書籍ダウンロード料金：有料 (一部無料あり)

使えるプリペイドカード：Amazon ギフト券

読みたい本の探し方：

《購入済みの本》

Kindle アプリ画面で検索(虫眼鏡マーク)するかライブラリーで探します。

《新しく購入したい本》

Amazon ホームページのKindle本ストアから探します。

※Amazon アカウントを登録して下さい。

読み上げ：可能。事前に端末に設定する必要あり

Kindle 電子書籍 Amazon 検索

【iBooks(アイブック)】

対応端末：iPhone/iPad/Mac 対応パソコン

書籍ダウンロード料金：有料 (一部無料あり)

使えるプリペイドカード：AppleStore カード

読みたい本の探し方：

《購入済みの本》

iBook アプリ画面に検索(虫眼鏡マーク)するかライブラリーで探す。

《新しく購入したい本》

AppleStore のブックストアから探します。

読み上げ：可能。端末に設定する必要あり

Apple iBooks 電子書籍 検索

【楽天 kobo 電子書籍アプリ】

対応端末：

Android 対応スマホ・タブレット/iPhone/
iPad/Windows 対応パソコン/Mac 対応パソコン
kobo 電子書籍リーダー本体

アプリダウンロード料金：無料

アプリダウンロード方法：

Android…Google Play から検索
iOS・Mac…AppleStore から検索
Windows…楽天ブックス電子書籍から検索

電子書籍リーダー価格：11,800～19,960 円 (込)

書籍ダウンロード料金：有料 (一部無料あり)

使えるプリペイドカード：

楽天バーチャルプリペイドカード

※楽天会員である事が条件です。

読みたい本の探し方：

《購入済みの本》

アプリ画面の検索(虫眼鏡マーク)かライブラリーで探します。

《新しく購入したい本》

楽天ブックスホームページの電子書籍ストアから探します。

※楽天ショッピングのアカウントを登録して下さい。

読み上げ：可能。事前に端末に設定する必要あり。

楽天 kobo 電子書籍 検索

【SONYReaderStore 電子書籍アプリ】

対応端末：

Android 対応スマホ・タブレット/iPhone/
iPad/Windows 対応パソコン/Mac 対応マシン
PlayStation@Vita (携帯ゲーム機)
Reader 電子書籍リーダー本体

アプリダウンロード料金：無料

アプリダウンロード方法：

Android…Google Play から検索
iOS・Mac…AppleStore から検索
Windows…ReaderStore から検索
PlayStationVita…PlayStationStore から検索

電子書籍リーダー価格：10,266 円～ (込)

書籍ダウンロード料金：有料 (一部無料あり)

使えるプリペイドカード：NET-CASH

読みたい本の探し方：

《購入済みの本》

アプリ画面に検索(虫眼鏡マーク)するかライブラリーで探します。

《新しく購入したい本》

ReaderStore ホームページの電子書籍ストアから探します。

※SONYReaderStore のアカウント登録して下さい。

読み上げ：不可

SONY ReaderStore 検索

AJU 自立の家 25 周年記念 障害者就労の未来を考えるセミナー

障害者の働く環境は本当に改善したの？——近ごろでは、障害者の雇用数と実雇用率は伸び、法定雇用率の引き上げや対象企業の規模が 200 人以上から 100 人以上に強化されるなど、雇用環境は数字の上では伸びています。また、福祉的就労も、就労継続支援 A 型事業所が 5 年間で 12 倍になるなど、障害者の働く場が増えています。

でも、あなたは、本当に働きがい「しあわせ」を感じてますか？？障害があっても、社会で活躍したい、働いて収入を得たい——そんな障害当事者の思いを実現する働き方とは…。どんな働く環境や制度があったらいいのでしょうか。本セミナーは障害当事者の視点でこれまでの障害者の働く現場を思い返し、そして、これからのビジョンを考えます。

開催日：2015 年 11 月 22 日(日)13:00～16:00

会場：名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

展望ホール

名古屋市千種区吹上 2-6-3

TEL：052-735-2111

主催：社会福祉法人 AJU 自立の家

参加費：無料

定員：200 名

参加資格：障害当事者、福祉サービス事業者、教育関係者、行政関係者、一般市民（障害者の就労環境に関心のある方はどなたでも）

主な内容：

◎講演とミニライブ

「障害者の就労の現状と課題」（仮題）

講師 佐野武和 氏

社会福祉法人ぽてとファーム事業団代表

（兼利用者）。JIL 人権委員会委員長。ツ

ウフィンガーブルースミュージシャン。

ホイルチェアユーザー。

◎ビデオ上映「私たちこんな風に働きたい」（仮題）

◎パネルディスカッション

「あったらいいね、こんな職場、こんな働き方」

パネラー……一般就労、起業者、福祉的就労（身体、精神）、それぞれの立場から障害当事者が、また、雇用支援の立場から、愛知障害者職業センター所長が登壇。

コメンテーター……佐野武和 氏

進行……戸田二郎（ゆめ風基金理事・障害者自立センターつかい棒理事）

申込期間：2015 年 11 月 15 日(日)まで

申込先：①AJU のホームページから

<http://www.aju-cil.com>

②FAX またはメールから

③申込用紙記入の上、郵送か AJU へ持参

問い合わせ先：（日祝日は除く）

社会福祉法人 AJU 自立の家

わだちコンピュータハウス内 25 周年実行委員会

TEL：052-841-9888

FAX：052-841-3788

Mail：wadachi25th@aju-cil.net

障害者就労の未来を考えるセミナー

検索

第 12 回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院

この多治見修道院ワインフェスタは、小牧ワイナリーの障害のある仲間たちが葡萄を作り、ワイン造りのお手伝いをしています。一年を通しての作業やワイン造り、自立に向かっている成果を発表する場として、多治見修道院ワインをはじめ、世界の修道院ワインを味わいながら、多彩なゲストにご協力をいただき、様々なイベントとともに開催しています。



日 時：2015 年 11 月 3 日(火祝)

開場 9:30～ 時間 10:00～14:30(予定)

会 場：多治見修道院（雨天決行）

参加費：前売券 3,000 円

当日券 3,500 円（未成年 入場無料）

ワイン 1 本とワイングラス付き

※未成年者と運転される方の飲酒は堅くお断り致します。

問い合わせ先：小牧ワイナリー

TEL：0568-79-3001 FAX：0568-79-3002

E-mail：komakiwinery@aju-cil.com

AJU ワインフェスタ

検索

【お詫びと訂正】

137 号『いろいろ情報』多治見ワインフェスタ情報（P25 右）掲載内容に誤りがありました。

誤：参加費：前売券：2,500 円

当日券：3,000 円

↓

誤：参加費：前売券：3,000 円

当日券：3,500 円

誌面をもってお詫びと訂正をさせていただきます。



訪問マッサージ・リハビリ

自宅療養・歩行困難の方が対象です。寝たきりゼロのためにご利用下さい。

健康保険が使用できます
(医師の同意が必要)



(株)東洋医療グループ
ひかり鍼灸院

緑区鳴海町字大清水 69-1029

☎ 0120-56-0348

<http://www.hikarisinkyuin.com>

お気軽にご相談下さい。担当/牧野

そらいろ工房

一級建築士事務所

“バリアフリー住宅”にこだわる設計事務所です。
車いす利用者の方のより良い住まいを一緒に考えます。

受賞歴
わが家のリフォームコンクール最優秀賞
あたたかな住空間デザインコンペ最優秀賞
ハウスアダプテーションコンクール佳作
愛知まちなみ建築賞

おご
気相
軽談
には
ど無
う料
ぞで
。す
。



〒466-0012

名古屋市昭和区小桜町3-11

TEL: 052-741-2907

FAX: 052-741-2760

そらいろ工房 井上義英

車いすに乗ったまま「行きたい!」をかなえる



介護タクシー ところ

でんわ 090-9184-5515

名古屋市千種区新池町2-22-8

tel/fax 052-782-3172

編集後記

気温が下がり、すっかり涼しくなって、野山には果実が実り、「金風の候」という時候の挨拶がぴったりの季節になりました。

実りの秋とはよく言ったもので、米や芋やキノコ類や蕎麦（そば）などの穀類や、桃や栗や柿や林檎（りんご）や、葡萄（ぶどう）や、茶碗蒸しに入れる銀杏（ぎんなん）と数え切れない果実がたわわに実っていて、私のおなかも大満足の季節です。皆さんと一緒に、この季節を大いに楽しみたいと思います。

これから挑戦してみようと思っていること、こんなことがあったよ～など、どしどしお寄せください。待ってま～す。

(ナベ)



医療相談室

長年、診療機関で障害がある仲間の医療ケアに携わってみたい、リハビリテーション医の万歳登茂子先生のご協力で開設。

《相談日》11月14日

12月5日、19日

いずれも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

《対象》障害がある人

《費用》無料

《受付》自立生活情報センター

TEL 052-841-6677

FAX 052-841-6622

E-mail johoc@aju-cil.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU自立の家 サマリアハウス内相談室



やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談に対応。

《相談日》11月7日、21日

12月5日、19日(要予約)

いずれも土曜日、午後1時半から
事前にご連絡下さい

《費用》無料

《受付》サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

E-mail sumai-sien@freeml.com

URL <http://sumai-sien.com>

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU自立の家

サマリアハウス内



福祉情報誌オンラインショップ

AJU福祉情報誌オンラインショップを開設しました。あなたの家まで年間購読や最新各号のバックナンバーを郵送するだけでなく、インターネットからダウンロード販売も行えるようになりました。

お支払方法は次の3つです。

- ① 銀行振込(ゆうちょ銀行)
- ② 郵便振替
- ③ カード決済(Paypal)

問い合わせ先:

AJU福祉情報誌発行委員会(担当:水谷)

URL: <http://fjoho.cart.fc2.com/>

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

福祉情報誌オンラインショップ

検索

※年間購読でダウンロード版をご希望の方は、
編集部までご連絡ください。

E-mail: f-joho@aju-cil.com



情報募集中!

障害福祉制度への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、あれ?ちょっとおかしいな?と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ、編集部までご連絡下さい

■編集部

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

E-mail f-joho@aju-cil.com

お待ちしております



隔月発行

振込先(郵便局にて振込)

加入者名: 福祉情報誌発行委員会

口座番号: 00890-0-90573

お問い合わせ・購読中止のご連絡は、こちらまで

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

E-mail: f-joho@aju-cil.com